

2024年度（2025年3月期） 第1四半期決算 補足説明資料

DNP

未来のあたりまえをつくる。

2024年8月8日

大日本印刷株式会社

【2024年度第1四半期決算概要】

(単位：億円)

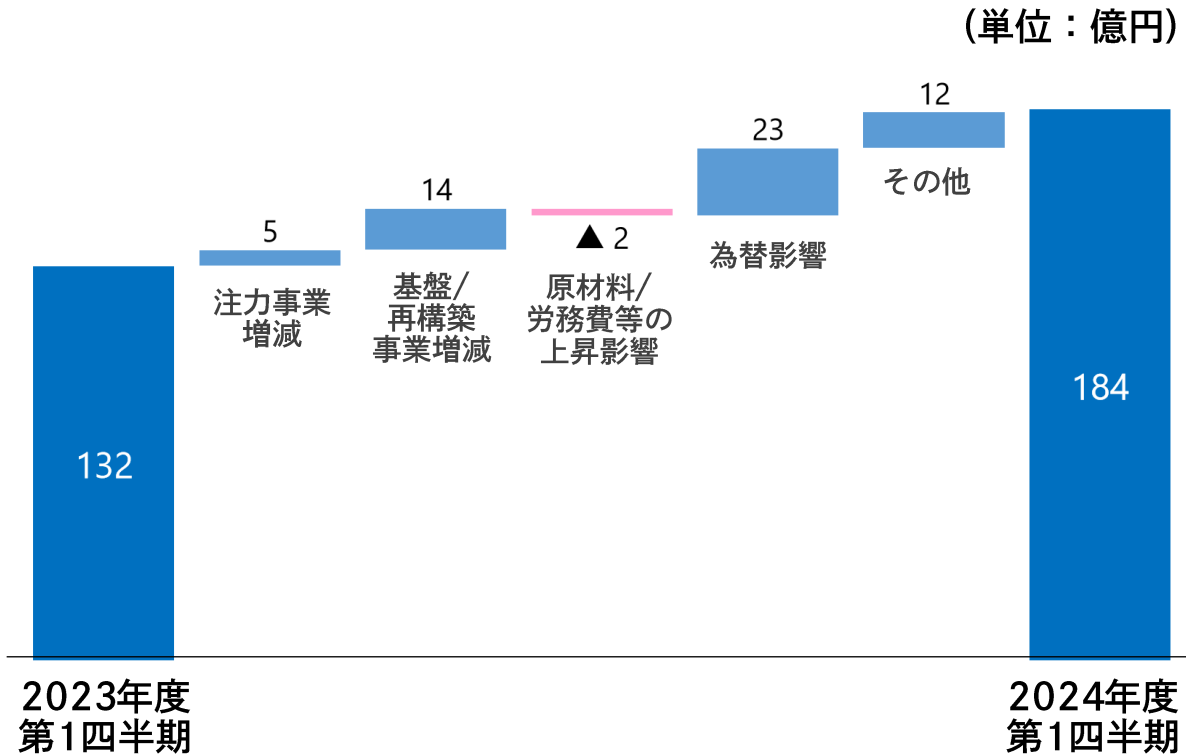
	2023年度 第1四半期	2024年度 第1四半期	増減率 (差)	2024年度 業績予想	進捗率
売上高	3,450	3,566	+3.3%	14,550	24.5%
営業利益	132	184	+38.9%	800	23.1%
経常利益	193	256	+32.1%	1,000	25.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	580	632	+9.0%	900	70.3%

設備投資額	139	126	▲8.9%	740	17.1%
研究開発費	88	92	+3.9%	360	25.6%
減価償却費	123	126	+2.7%	560	22.7%

概況

- ✓ 注力事業領域を中心とした新しい価値の創出を加速し、売上高は前年から増加
- ✓ デジタルインターフェース関連を中心とした注力事業の拡大や、再構築事業の収益改善が寄与し、営業利益は前年から増加
- ✓ 持分法適用関連会社の業績が堅調に推移したほか、政策保有株式の売却益計上も寄与し、経常利益および四半期純利益も前年から増加

【2024年度第1四半期決算概要】 営業利益増減要因



概況

- ✓ 注力事業は、車載向けバッテリーパウチがEV需要停滞の影響を受けるも、太陽電池関連部材やデジタルインターフェース関連が増加
- ✓ 基盤事業は、写真プリント用部材やICカードが堅調に推移
- ✓ 再構築事業は、包装関連の需要が好調だったことに加え、価格転嫁の推進や固定費の圧縮が寄与

【2024年度第1四半期決算概要】 注力事業・基盤事業の概況

DNP

(単位：億円)

		2023年度 第1四半期	2024年度 第1四半期	概況 (矢印は売上高の前年比)	
スマート コミュニケーション 部門	セグメント 売上高	1,800	1,746	イメージング コミュニケーション関連	 写真プリント用部材が欧米・アジア市場などを中心に好調に推移
	セグメント 営業利益	49	58	情報セキュア関連	 キャッシュレス化の進展によりデュアルインターフェイスカード※が伸長も、ビジネスフォーム等が減少
				コンテンツ・XR コミュニケーション関連	 日本発コンテンツ市場の活況を背景に、米国・サンフランシスコに「東京アニメセンター」初の海外拠点を開設
ライフ& ヘルスケア 部門	セグメント 売上高	1,092	1,235	産業用高機能材関連	 バッテリーパウチはIT向けが増加も、車載向けが市況停滞の影響を受け減少
	セグメント 営業利益	15	47	モビリティ関連	 塗装工程の短縮と環境負荷の低減に寄与し、デザイン性に優れた外装用加飾フィルムの販売に注力
				メディカル・ヘルスケア 関連	 創薬開発の支援に向け、韓国NEXEL社と心筋細胞の培養に関する技術提携を発表
エレクトロ ニクス 部門	セグメント 売上高	562	589	光学フィルム	 テレビ用パネルの大型化にともなう出荷面積の拡大などにより伸長
	セグメント 営業利益	124	136	有機ELディスプレイ 製造用メタルマスク	 スマートフォンでの有機ELディスプレイ採用拡大を背景に計画通り伸長
				半導体関連	 半導体パッケージ用のリードフレーム等でサプライチェーン全体の在庫調整が進み、堅調に推移

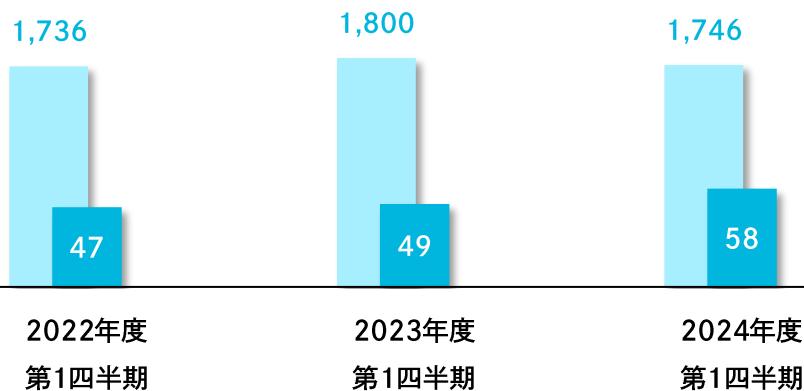
※ 1つのICチップで接触型と非接触型の2つのインターフェイスを備えるカード

【2024年度第1四半期決算概要】セグメント別業績

(単位：億円) **DNP**

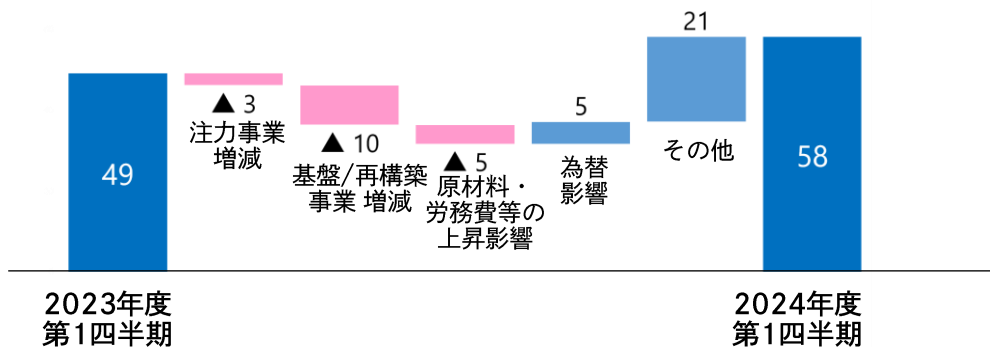
スマートコミュニケーション部門

■ 売上高 (左) ■ 営業利益 (右)



業績推移

営業利益増減要因



概況

- ✓ 情報セキュア関連は、ICカードが好調に推移するもBPOが前年大型案件の反動により減少
- ✓ イメージングコミュニケーション関連は写真プリント用部材が好調に推移したほか、国内の証明写真サービスが増加
- ✓ 再構築事業は、雑誌や商業印刷等の紙媒体における市場縮小が継続

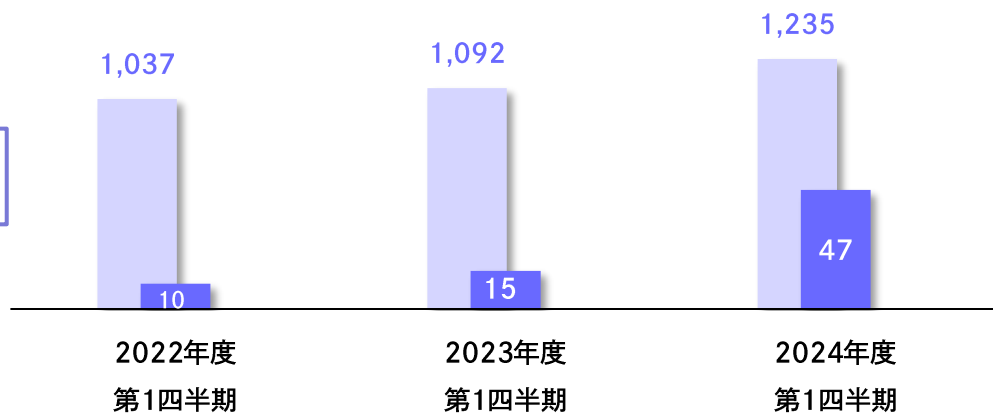
【2024年度第1四半期決算概要】セグメント別業績

(単位：億円) **DNP**

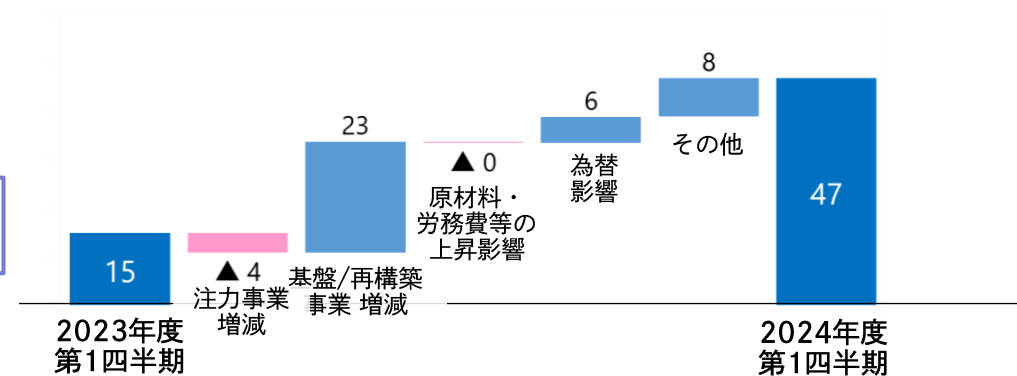
ライフ＆ヘルスケア部門

■ 売上高 (左) ■ 営業利益 (右)

業績推移



営業利益増減要因



概況

- ✓ 注力事業は、車載向けバッテリーパウチが減少も、IT向けがスマートフォンの新機種への採用拡大によって伸長したほか、太陽電池関連部材なども増加
- ✓ 包装関連はスナックや日用品関連の受注が好調だったことに加え、価格転嫁の促進により原材料費等の上昇影響が緩和
- ✓ 飲料事業は、自動販売機やコンビニエンスストア、オンラインでの販売が好調に推移

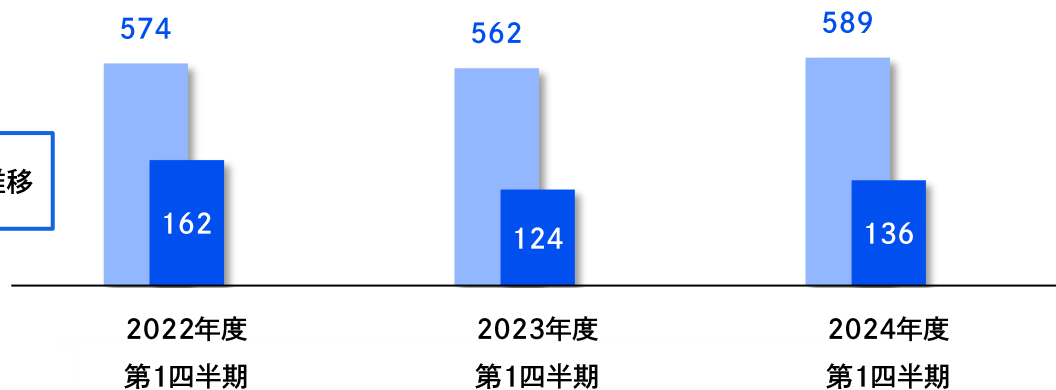
【2024年度第1四半期決算概要】セグメント別業績

(単位：億円) **DNP**

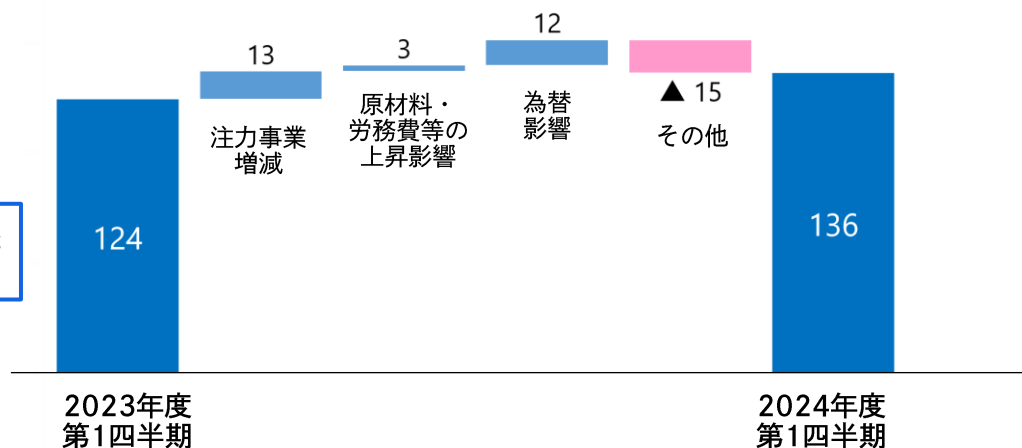
エレクトロニクス部門

■ 売上高 (左) ■ 営業利益 (右)

業績推移



営業利益増減要因



概況

- ✓ 光学フィルムはテレビ用パネルの大型化を背景に堅調に推移
- ✓ 有機ELディスプレイ製造用メタルマスクは、スマートフォンへの採用比率拡大に伴い計画通り伸長
- ✓ 2024年5月に福岡県北九州市の黒崎工場内に新設したメタルマスク新ラインの稼働を開始

2024年度業績予想



通期業績予想は変更なし

(単位：億円)

【全社】	2023年度実績	2024年度業績予想	増減率(差)
売上高	14,248	14,550	+2.1%
営業利益	754	800	+6.0%
営業利益率	5.3%	5.5%	+0.2%
経常利益	987	1,000	+1.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,109	900	▲18.9%
ROE	9.8%	8.0%	▲1.8%

設備投資額	683	740	+8.2%
研究開発費	352	360	+2.2%
減価償却費	559	560	+0.0%

【セグメント別】		2023年度実績	2024年度業績予想	増減率(差)	参考： 中期経営計画
スマート コミュニケーション	売上高	7,194	7,200	+0.1%	7,230
	営業利益	261	300	+14.7%	290
ライフ& ヘルスケア	売上高	4,723	5,000	+5.9%	5,240
	営業利益	133	180	+34.9%	210
エレクトロ ニクス	売上高	2,353	2,400	+2.0%	2,120
	営業利益	581	540	▲7.1%	470
調整	売上高	▲22	▲50	-	▲40
	営業利益	▲222	▲220	-	▲220
合計	売上高	14,248	14,550	+2.1%	14,550
	営業利益	754	800	+6.0%	750

未来のあたりまえをつくる。

DNP

免責事項

本資料における業績予想及び中期的な経営目標等、将来予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により、これらの将来予想とは異なることがあることをご承知おきください。